

文書番号	RT002-01
------	----------

タイトル
HOLON の複数バージョン 混在について

日本電気株式会社  
ソフトウェア開発技術事業部 第三技術部

発行履歴

版	発行年月日	備考
1	1999年10月22日	
2	1999年11月15日	
3	2000年1月27日	

第2版

項番	改版内容
1	OLF連携についての注意事項を追加

第3版

項番	改版内容
1	デフォルトプリンタについての注意事項を追加
2	同一プロセス使用可能なコネクション数についての注意事項を追加

HOLON/AB(V3.0)以降の HOLON の複数バージョン混在についての注意事項を以下にまとめます。

## 1. 開発環境

開発環境を混在させて動作させることはできません。

以下により環境を変更して御使用願います。

### 1. 1. クライアント

#### [Windows95/98]

使用する HOLON に合わせた環境変数が設定されるよう `autoexec.bat` を修正し、マシンを再起動してください。

#### [WindowsNT]

使用する HOLON に合わせた環境変数を設定してください。

### 1. 2. サーバ

#### [WindowsNT]

起動中の HOLON サービスを停止し、使用する HOLON に合わせたシステム環境変数を設定後、使用する HOLON のサービスを起動してください。

#### [Unix]

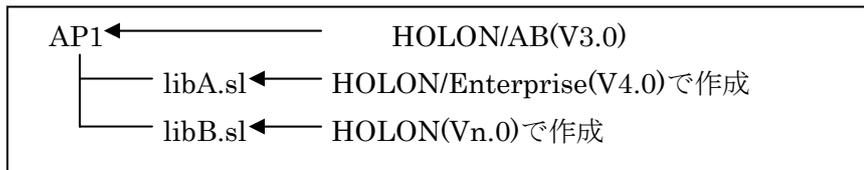
起動中の HOLON デーモンを停止して、使用する HOLON のデーモンを起動してください。

## 2. 実行環境

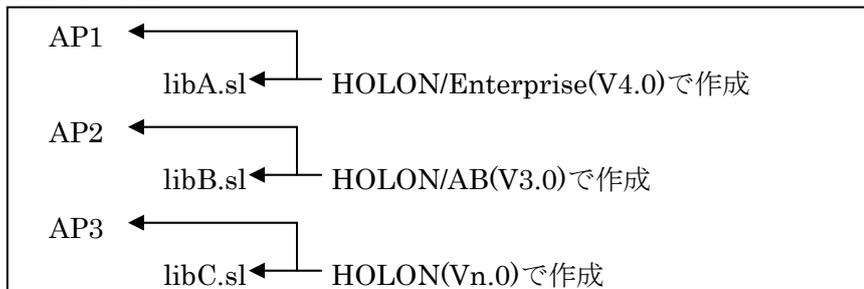
実行環境は異なるバージョンの HOLON を混在して使用することが可能です。

ただし、以下の例のように1つのプロセスを構成するモジュールを HOLON の複数のバージョンで作成することは出来ません。以下の例は HP-UX 上のアプリケーションの例ですが他の OS 上のアプリケーションの場合も同様です。

混在実行不可能パターン



混在実行可能パターン



### 3. 実行環境混在時の注意事項

#### 3. 1. Windows95/98/NT

- 異なるバージョンの HOLON を同一のディレクトリにインストールしてはいけません。
- Windows 上の HOLONPR.INI および DBINITRC ファイルについて、開発に使用した HOLON のバージョンに関係なく同じでなければなりません。

ファイル	ファイル存在場所	格納情報
HOLONPR.INI	環境変数 HOLONAB で指定するディレクトリに存在	プリンタ設定情報
DBINITRC ファイル	環境変数 DBINITRC でファイル名を指定する	データベース接続情報

- Windows 上で HOLON の実行環境を複数バージョン混在させる場合は、PATH は上位バージョンのものが優先になるように指定しなければなりません。
- OLF 連携において画面電文（画面定義よりコピー原文を生成する）機能を利用している場合には、各バージョンのプログラム（実行 EXE）があるディレクトリに各バージョンに対応する OLF 連携ランタイムライブラリ（CXLB6001.DLL）をコピーしておく必要があります。型情報オブジェクト（共通エリア仕様よりコピー原文を生成する）機能だけを利用している場合には共存可能であり上記の作業は不要です。
- 混在環境においてデフォルトプリンタへの出力を行う場合、HOLON/AB（V3.0）はオーバーライト # 8 以降が適用されている必要があります。
- HolonEnterprise（V6.0）以降では同時に使用可能なコネクション数が 3 から 16 に拡張されています。V4.0、V5.0 で作成したアプリケーションを V6.0 以降の実行環境が優先されている環境で動作させた場合には 16 までのコネクションが使用可能となりますが、V4.0、V5.0 の実行環境のみの環境では 3 までとなりますので、注意が必要です。
- 今後、HOLON 各バージョンの実行環境混在のため、各バージョン独自の環境変数等の設定が必要になる場合があります。

#### 3. 2. HP-UX

- HP-UX 上の HOLON で開発したアプリケーションが実行時に環境変数 SHLIB\_PATH を参照するようになっている（chatr コマンドで確認可能）場合、SHLIB\_PATH に HOLON ランタイムディレクトリを指定しない様にしてください。（HOLON ランタイムディレクトリへの参照パスはアプリケーションに埋め込まれています）
- HP-UX 上の font.conf, font.tbl, HOLONAB.PRT および DBINITRC ファイルについて、アプリケーション実行ユーザが同じ場合、開発に使用した HOLON のバージョンに関係なく同じでなければなりません。（font.conf, font.tbl に関しては、環境変数

FONTDEFENV を指定した場合、および AP 実行時のカレントディレクトリに格納している場合のみです。)

ファイル	ファイル存在場所	格納情報
Font.tbl,font.conf	環境変数 FONTDEFENV で設定されたディレクトリ、AP 実行時のカレントディレクトリ、対応する HOLON のバージョンで指定する etc ディレクトリの順に検索	フォント情報
HOLONAB.PRT	AP 実行ユーザのホームディレクトリ	プリンタ設定情報
DBINITRC ファイル	環境変数 DBINITRC でファイル名を指定する。既定値は.dbinitrc (AP 実行ディレクトリ、ホームディレクトリの順に検索)。	データベース接続情報

注) AP 実行時のカレントディレクトリとは、アプリケーションが格納されているディレクトリではなく、実行されたときのカレントディレクトリを指します。

### 3. 3. EWS/UP

- ・異なるバージョンの HOLON を同一のディレクトリにインストールしてはいけません。
- ・EWS/UP 上の HOLON で開発したアプリケーションの実行時に環境変数 LD\_LIBRARY\_PATH に HOLON ランタイムディレクトリを指定しない様にしてください。(HOLON ランタイムディレクトリへの参照パスはアプリケーションに埋め込まれています)
- ・UP 上の font.conf, font.tbl, HOLONAB.PRT および DBINITRC ファイルについて、アプリケーション実行ユーザが同じ場合、開発に使用した HOLON のバージョンに関係なく同じでなければなりません。(font.conf,font.tbl に関しては、環境変数 FONTDEFENV を指定した場合、および AP 実行時のカレントディレクトリに格納している場合のみです。)

ファイル	ファイル存在場所	格納情報
font.tbl,font.conf	環境変数 FONTDEFENV で設定されたディレクトリ、AP 実行時のカレントディレクトリ、対応する HOLON のバージョンで指定する etc ディレクトリの順に検索	フォント情報
HOLONAB.PRT	AP 実行ユーザのホームディレクトリ	プリンタ設定情報
DBINITRC ファイル	環境変数 DBINITRC でファイル名を指定する。既定値は.dbinitrc (AP 実行ディレクトリ、ホームディレクトリの順に検索)。	データベース接続情報

注) AP 実行時のカレントディレクトリとは、アプリケーションが格納されているディレク

トリではなく、実行されたときのカレントディレクトリを指します。

### 3. 4. 全 OS 共通

- ・今後、HOLON 各バージョンの実行環境混在のため、各バージョン独自の環境変数等の設定が必要になる場合があります。

以上

## 改版履歴

版	発行年月日	承認	査閲	作成	備考
1	1999年10月22日	中出	中出	渡辺	
2	1999年11月15日	中出	中出	渡辺	
3	2000年1月27日	中出	中出	渡辺	

### 第2版

項番	改版内容
1	OLF連携についての注意事項を追加

### 第3版

項番	改版内容
1	デフォルトプリンタについての注意事項を追加
2	同一プロセス使用可能なコネクション数についての注意事項を追加